

13 シノリガモ

(カモ目)

Histrionicus histrionicus

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

シベリア東部からサハリン、千島列島、日本北部、アリューシャン列島、アラスカ、カナダ西部、北アメリカ西海岸などで繁殖する。繁殖後はオホーツク海沿岸、中国東部、朝鮮半島、日本などに渡り、越冬する。日本では北海道と本州北部の山地溪流で少数が繁殖する他、主に北海道、本州、四国、九州の海岸で越冬する。岩礁の多い荒磯に生息し、甲殻類や貝類、ウニなどを好んで採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、伊豆諸島、小笠原群島、慶良間諸島



写真提供：北野光良

(性別：メス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★明石市、★西宮市、★豊岡市、加古川市、高砂市、朝来市、淡路市、香美町、新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
						○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に12-翌4月に生息する。古い記録は1957年1月淡路市の1例に過ぎない。岩礁の多い荒磯で、大きな群れを作らず、単独か数羽で行動することが多いため確認が難しい。1979年以降からわずかに記録が見られるようになり、2003年以後は渡来情報が増えた。最近では、瀬戸内側の沿岸部と但馬地域の沿岸部に、2桁台の少数で渡来している。

保護上の留意点

採餌場所として浅い岩場及び生息海域の海洋環境の保全が重要。